

議事録

信太山パーククラブ（以下 SPC と略す）運営会議

開催日時：2025年1月21日（火）13:00～

開催場所：信太山丘陵里山自然公園 管理棟

出席者：森井、渡辺、稲井、俵谷和明（管理棟業務兼務）、山口（管理棟業務兼務）

議事録作成者：山口

議題①	活動報告
決定事項	なし
議論内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1/13の保全活動後の事業計画 mtg にて、SPC が団体会員として承認された。 ・協議会の mtg って誰でも参加できるのか？ ・オブザーバーとしてなら誰でも参加可能だが議決権はない。 ・協議会で個人会員を廃止したため、個人参加者の声は何らかの団体を通じてしか届けられなくなった。SPC が作られたのは個人会員の声を届けるためでもある。
議題②	活動予定
決定事項 (既定事項・運営会議後確定事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的に協議会の保全活動には参加する。 ●協議会の平日活動日の午後を SPC の定例活動日とする。 ●4月以降、協議会の平日活動日が第3火曜から第4水曜に変更になる可能性大。（確定） ●土日にも SPC 活動日を追加する。（協議会の休日活動予備日をあて、その日活動があれば流会） ●原則、奇数月平日・偶数月土日に運営会議、奇数月土日・偶数月平日に実践・楽しみ活動。 ●協議会の6/1と12/7のスキルアップ活動を SPC 主導で行う。 ●10/19開園1周年記念イベント開催が協議会で決定し、SPC も出展する。 ●会員意識を持って貰うための一文を今回の議事録と一緒に送る。
議論内容	<ul style="list-style-type: none"> ・知らぬ間に会員にされていたという感覚の SPC 会員も多く、会員意識もなく、参加意欲もない。まずは SPC 会員に会員意識を持って貰うことから始める必要がある。 ・夢のある面白そうな活動予定を提示すれば、参加者も増える。 ・SPC の活動日を協議会の平日活動日の午後としたが、土日しか参加できない方も来れるようにしたい。少しでも多くの人に参加して貰えるよう、土日のどちらがよいか LINE グループで投票を呼び掛ける（今回は間に合いませんが、LINE 登録をご希望の方はお申し出ください）。 ・活動日は増やさずに、休日保全活動の後15分程を連絡などにあてたらどうか？そもそも草刈りのために協議会活動に参加したのであって、組織を作ったりイベントを考えたりするためではない。組織ができたのだからイベントして客を集めろなんて筋違い。やりたい人がいるなら活動するなどは言わないが、できるだけ短時間にした方がよい。
議題③	活動内容について
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ●6/1のスキルアップ活動として安全衛生研修をするよう協議会に提案する。 ●10/19の開園1周年記念イベントで SPC として何をするか案を募集する。 ●セルフガイダンス機能の整備に取り組む。 ●富田林の奥の谷に里山の保全活動の見学に行く。

議論内容

- ・草刈りの際、開園するまでと違い開園してからの特に休日は、刈払機のそばに子供が来る可能性があり危険性が増えた。刈払機操作に不慣れな人が操作したり、刈払機のそばにいる危険性がわかっていない活動者が増えたりする可能性もあり、危険性が増しているので、協議会に安全衛生研修をするべきだと提案したい。また、危険つながりで、ケムシ・ハチ・ムカデ・ママシや毒キノコ・アレルギーを引き起こす植物、怪我する可能性のある植物など危険な生物や熱中症に対する対策、AED 講習も併せて行えばよいと思う。
- ・12/7 のスキルアップ活動はどうする？
- ・何か食べるイベントはどうか？
- ・焼き芋とか豚汁とか、温かいものいいかな。
- ・里山環境の特徴を活かし、間伐材など里山の資源を有効活用するプログラムとして、これまでかまどを作って、ピザを焼いたり、七草粥を作ったりしてきた。スキルアップ活動としてやれば、公社から予算も降る。偶数月は実践・楽しみ活動をするとなっているので、その楽しみ活動としてどうか？
- ・そういう楽しいことは早くやりたいな。
- ・開園 1 周年記念イベントで何をするかは次回会議で提案して欲しい。
- ・SPC だけのイベントではなく、協議会として開催するので、協議会参加各団体がそれぞれ出展する。
- ・セルフガイダンス機能の整備とは何か？
- ・「和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想」5-6 にセルフガイダンス機能という項目があり、「ガイドの随行が無くとも、来園者が公園の環境を学ぶことが可能となるよう、敷地内にセルフガイダンス機能を設ける」「セルフガイダンス機能は、QR コードによる情報取得など、より知識を深めることが可能な情報媒体（スマートフォンやタブレット）の活用も検討する」とあるが、現状、管理棟前の案内板の地図や園内の行先案内板くらいしかなく、ガイドなしで公園の環境を学ぶことができるようにはなっていないので、これの整備を実施しようと協議会に提案したい。
- ・それは是非やりたい。公社はしないの？
- ・させればよいと思う。公社の業績にもなるし。
- ・花や葉の写真を撮るだけでその植物の名前や情報がわかる無料のアプリもある。
- ・無料のアプリは広告が出て来て煩わしいし、選択肢の中から正解を選ばないといけなかったりする。資料のアボック社のは 1 枚 2000 円から 5000 円くらいするけど、植物図鑑の出版社なので信頼性が高く深い情報が得られる。最初は手作りで、徐々に QR コード付きの製品に変えて行ったり、代表的なものだけ QR コード付きにしたりしてもいいと思う。
- ・アンケートにも園内の植物の情報マップを作りたいという意見があり、同じようなことを考えているんだと思う。
- ・まずは、基本構想に書いてあるのだから、協議会で実行して欲しいと提案する。
- ・SPC が有償で請け負うことも考えられる。
- ・手作りで充分だと思う。自分で作れば覚えられるし
- ・思い入れも愛着もますますわいてくるし。セルフガイダンス機能の整備はやる方向で。次に、管理棟北西側法面に畑を作り、農作物を植えて収穫するということを提案したい。育てるものとしては、金ゴマとか小豆とかいう案もあったがなかなか難しいようなので、みかんとかサツマイモとかなら比較的取り組みやすいようだ。
- ・僕は反対です。なんで自然公園に畑を作らないといけないのか？

	<ul style="list-style-type: none"> ・ただの自然公園なら畑はいらないのですが、ここは「里山」自然公園で、里山って畑があるものでしょう。里山公園だから畑があったらいいなと思う。 ・収穫物は、みかんならみかんは作った者だけが食べるのですか？ ・イベントをして参加者に持って帰っていただいたり、みかん狩りをして持ち帰りできるようにしたり、収穫物をどうするかは皆で考えて行けばよいと思う。 ・市は里山自然公園と農業の親和性は高いと言っている。 ・協議会で提案したら、反対意見はなく、面白いと思うから構想を描いて来るよう言われた。 ・収穫物を一部の人間だけが得るのはおかしいと思う。 ・では、追々考えていくということにしたいと思う。 <p>次に竹林整備ですが、去年の一斉開花後枯れはしたが、また再生するので、適切に管理しないとすぐに拡大して、周囲の樹木に悪影響を及ぼす。環境くらぶが協議会に参加して竹林整備を手掛けたい意向らしいので協力したい。当面は、観察をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状できることは観察くらいで、伐採等の作業は協議会の保全活動でやるしかない。 ・これも SPC の活動とするか考えていきたいと思う。 <p>次に、遠足ですが、大阪府宮泉佐野丘陵緑地には公民協働で公園づくりやイベント・プログラムの企画などを行っているボランティア団体の「パーククラブ」が十数年活動している。富田林の奥の谷でもボランティア団体が 30 年以上も里山保全活動を続けている。現地に行って見学すれば参考になるのではないかと思う。遠足には行きますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強になりそうだと思う。 ・行きたいかどうかアンケートを取ったらどうか？ ・奥の谷は結構険しいけど、体力的に大丈夫か？ 泉佐野はあまり参考にならなかった。 ・それでは、奥の谷を遠足候補地とします。 <p>最後に SPC の近隣へのアピールですが、先ずは、総会や運営会議に地域代表として出席いただいている山の谷と鶴山台の代表の方に、ご挨拶と会員拡大のための SPC の活動案内チラシの配布について申し入れる。</p> <p>今日決まったことは年間スケジュールに落とし込んで議事録と一緒に発信する。</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・6/1 のスキルアップ活動として安全衛生研修をするよう協議会に提案する。 ・セルフガイド機能の整備を実施しようと協議会に提案する。 ・10/19 の開園 1 周年記念イベントで SPC として何をするか案を募集する。 ・惣ガ池湿地は結構危ない。子どもが自由に出入りして事故を起こさないか心配。対策が必要。 ・LINE 登録をご希望の方はお申し出ください
保 留 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・畑を作り、農作物を植えて収穫する件は継続審議。 ・竹林整備は継続審議。
次回会議の開催日時と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2/18 (火) 13:00～ ・開始時点で竹林の現場観察と撮影をしてから会議に入る ・活動案内チラシの検討 ・今後の予定の詳細決め ・10/19 の開園 1 周年記念イベントで SPC として何をするか決める。

5. 施設整備構想

5-6. セルフガイド機能

■セルフガイド機能整備方針

一般の来園者や、遠足で訪れた小学生がグループ単位で公園内を散策する際に、ガイドの随行が無くとも、計画地の環境を一定学ぶことが可能となるよう、敷地内の指標的な環境にセルフガイド機能を設ける。

■セルフガイド機能のあり方

セルフガイド機能の設置においては、昨今の情報端末の発達に鑑み、例えばQRコードの設置による情報取得ツールの設置など、計画地への環境負荷を最小限まで軽減しながら、かつより知識を深めることが可能な情報媒体（スマートフォンやタブレット）の活用も検討する。




[ホーム](#) [植物名ラベル](#)

☎ 0467-45-5110

七日前・午後10時迄まで、平日9:30-17:00
[トップ](#)[Aboc
ラベルとは](#)[製品・図面
レイアウト](#)[事例集](#)[ラベル 選び
と設置基準](#)[納期](#)[価格表](#)[ご注文
お見積](#)[ご相談
Q & A](#)

植物名ラベル納品実績 全国500万枚 国内唯一、『植物名称の基準書』に 準拠したラベルメーカー

Abocは日本で最初に『植物名ラベル』の標準仕様を確立し、普及させた専門メーカー。また、日本で初めて国際ルールに準じて体系的にまとめられた「植物名称の基準本」の出版社でもあります。なぜ、Abocだけが国際水準の統一基準で常に正確な植物名表記を提供できるのか？それは、こうした国際規約を熟知し規約に基づき体系化した、信頼できるデータベースとコンテンツを社内保有し、製品化している唯一のラベルメーカーだからです。

豊島区新庁舎「豊島の森」

植物に学名をつける国際ルールブック『国際栽培植物命名規約』を日本で初めて翻訳出版。
本規約にもとづく国内初の流通植物名称辞典『日本花名鑑』シリーズを刊行。
世界標準の新分類体系を日本で初めて紹介したバイブル『植物分類表』を出版。




- 国土交通省造園緑化三団体「呼称統一協議会」準拠文献
- NHKテレビ『趣味の園芸』植物名テロップ「準拠文献」
- 「グリーンアドバイザー（R）認定講習」副教本

[Abocラベル設置場所一覧](#)

73%のお客さまに選ばれている Aboc『QRラベル™』とは

図鑑20冊分!! 植物愛好家・マニアも満足できる圧倒的な情報量。従来モデルと同価格で、3万種・11万件の名称情報と12万点の写真・国内外の植物図譜が公開されているWeb植物辞典 **花ペディア** にアクセス可能! 植物の世界が一気に広がります。

 植物名称研究所 (IPNJ) が国際ルールに従った一定基準に表記を統一しています。



学名（唯一の万国共通名称） Scientific Name

公共標識の多言語化に伴い、国際標準のラベル表記には原則併記されます。園芸品種の学名表記は『国際栽培植物命名規約』（本邦初訳・アボック社刊）に準拠することが世界共通ルールです。



標準和名

原則として植物分類学上の標準和名または園芸品種名。

解説

ふりがなつきの読みやすい文章。別名や漢字名・名前の由来・特徴や用途などを表記。

科名 Family Name

国際標準とされる新しい科名を採用。新分類体系により、科が変更した場合は、新旧両方の科名を併記（従来の科名をカッコ内に表示）。例）アジサイ科（旧ユキノシタ科）

QRコード

もっと知りたい人のために写真や解説をタブレット&スマホで閲覧できます(英語表示)。

- ▶ おためしQRコード
- ▶ Web植物辞典 **花ペディア**

ENG & PIX

英語 & 写真がみられることを示したピクトシール。

植物ID（**花ペディア** 番号）

Abocラベルは全ての植物情報と表示内容に6桁の固有識別番号を付与し、体系的にシステム管理しています。このIDはAbocがラベル内容を責任編集した証明として、製品サポートの際必要となるクレジット番号です。

SPLマーク

樹名板で唯一、Abocラベルには（一社）日本公園施設業協会の安心・安全の目印「SPL（セーフティー・プロダクト・リバティー）マーク」が貼付されています。同会「安全と品質に関する基準」適合の証です。

ラベル裏面に「ブランドマーク」

信頼の商標「Aboc®」「カブトムシ」の刻印「製品型番号」、問合せ先を明記。表示内容に間違いがありましたら、いつでもお取替えいたします。表面の植物IDをお知らせください。

国内最大規模のWeb植物辞典 **花ペディア**®につながる QRコードで利用者さまの満足度がアップ!

多言語対応

バージョンアップ

花や実の写真・解説・学名・分布情報が
QRコードを読みとるだけで見られます

インバウンド対応版

英語も見られる **花ペディア**®に
バージョンアップしました!!※英語ページは順次
追加更新中です

写真が大きく!



日本語画面

メニューバー



メニュー画面

言語切り替え

種名検索

はなせんせ® (SNS)リンク



分布地図入り

音声読み上げ

英語解説&
音声読み上げ

英語画面

※ 画面デザインは変更されることがあります。

※ 端末の言語設定が英語の場合、自動的に英語画面がデフォルト表示されます。

花ペディア®とは?

Abocが文化的事業のひとつとして出版・所蔵するコンテンツを無料で公開しているWeb植物辞典（2003年開設）。Abocライブラリや出版する植物図鑑20冊から、写真・図譜を含む植物情報約3万種類・名称情報11万件を収録。内容は植物名称研究所より日々追加更新されています。

➤ [Abocの出版事業について](#)

花ペディア®にはこれだけの専門書が入っています



Abocラベルはこちらからお選びいただけます

※ 表記価格は、**税抜**です。

※ 価格は2024年11月現在のもので、内外情勢や資源/原材料コスト上昇等の影響により変更する場合があります。

標準製品 (既成の表示内容・レイアウトでお作りするモデル)

造園・ガーデン向け

用途や場所を選ばず Abocラベルで最も選ばれているシリーズです。

さらに、樹木のやさしい雰囲気表現できる「楕円ラベル」をご提供するの Aboc だけ。

既存モデルと同価格で、Web植物辞典が見られる「QRコードモデル」

Web割引対象モデル



角でか字®QRラベル™

¥2,100~

おすすめ!



角解説QRラベル™

¥2,100~

おすすめ!



楕円でか字®QRラベル™

¥2,100~

おすすめ!

Web割引対象外



シーCラベル®

¥4,900~

おすすめ!

QRコードなしモデル

Web割引対象モデル



角でか字®ラベル

¥2,100~



角解説ラベル

¥2,100~



楕円解説ラベル

¥2,100~

Web割引対象外



角絵入り花ラベル

¥3,900~

[➔ 「造園・ガーデン向け」詳細へ](#)